

10日目 7月29日

会 場: 県立浜山球場

第1試合		～決勝戦～																
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
大 社	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	0	4
石見智翠館	1	1	0	0	2	0	2	2	X							8	10	0
(投手-捕手)																		
・ (大)	北野 - 小村																	
・ (智)	山崎琢 - 上																	
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (大)																		
・ (智)	関山												伊藤					
(審判) [球審]	城市			〔一塁〕 藤原周			〔二塁〕 吉岡			〔三塁〕 下谷								
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(大)	27	0	0	0	0	0	15	2	0	0	2	0		4	0	1	0	0
(智)	32	10	5	1	0	1	6	4	4	1	8	1		0	0	0	0	0

### 「決勝戦でノーヒットノーラン! 石見智翠館が甲子園へ!」

両エースの先発で始まった決勝戦は、1回裏に石見智翠館が1番関山の中安、続く打者の送りバントの処理をもたつく間に1・2塁とし、3番岡田のセンターへの適時打で1点を先制した。2回にも1点を加えた5回、2本の安打にバークが重なり申告敬遠などで2死満塁とし、5番山崎琢のライトへの適時打で2点追加、7回には6番伊藤が左越本塁打を放ち2点を追加し、結局8得点で大社高校を寄せ付けなかった。投げては、山崎琢が大社打線から15奪三振でノーヒットノーランを達成し、見事優勝を飾った。優勝した石見智翠館は、一昨年の101回大会以来2大会連続10度目の甲子園出場を決めた。同校は8月9日から阪神甲子園球場で行われる第103回全国高等学校野球選手権大会に出場する。

大社高校は守備のミスの絡んだ痛い失点が多かったが、7年振りに決勝戦へ駒を進めるなど古豪の復活を感じさせた。

